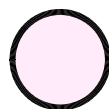
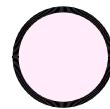
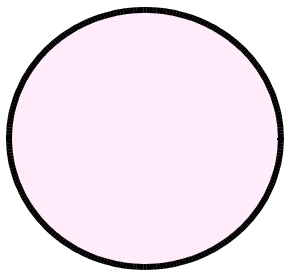


平成24年度

東京都中学校美術教育研究会 総会議案書



平成24年
5月25日(金)

14時20分 ~ 16時40分



なかのZEROホール

視聴覚ホール

総会式次第

- 開会の言葉
- 会長挨拶
- 祝辞 東京都教育委員会
- 議長団選出
 - ・第1号議案 平成23年度 活動報告に関する件
 - ・第2号議案 平成23年度 決算報告に関する件
 - ・第3号議案 平成24年度 役員選出に関する件
 - ・第4号議案 平成24年度 活動方針に関する件
 - ・第5号議案 平成24年度 予算に関する件
- 議長団の解任
- 平成24年度 東京都中学校美術教育研究会
第1ブロック（品川）大会に関して
- 閉会の言葉

研修・講演会

15時 ～ 16時

テーマ 「新しい美術表現を美術教育に取り入れる」

講 師 鈴木康広 氏
東京大学先端科学技術研究センター中邑研究室特任研究員
明治学院大学非常勤講師・常葉学園大学非常勤講師

2001年 東京造形大学デザイン学科卒業
2010年 瀬戸内国際芸術祭2010では「ファスナーの船」を出展して話題を呼んだ。
2011年 浜松市美術館での個展を中心に、浜名湖での「ファスナーの船」、商店街や市役所でのプロジェクトを行った。浜松市教育文化奨励賞「浜松ゆかりの芸術家」を受賞。初の作品集「まばたきとはばたき」（青幻舎）を刊行。

目 次

会則	（1）
平成23年度 東京都中学校美術教育研究会 活動報告	（2）
平成23年度 決算報告	（3）
平成23年度 東京都中学校美術教育研究会 組織・組織図（案）	（4～5）
平成24年度 東京都中学校美術教育研究会 活動方針（案）	（6）
平成24年度 年間活動計画（案）	（7）
平成24年度 収支予算（案）	（8）
東京都中学校美術教育研究大会の運営について	（9）
都中美 研究ブロック区分	（10）
都中美大会 一覧表	（11）

東京都中学校美術教育研究会 会則

- 第 1 条 本会は東京都中学校美術教育研究会といい、事務局を事務局長在任校に置く。
- 第 2 条 本会は東京都中学校美術教育研究会の研究並びに会員相互の親睦を図ることを目的とする。
- 第 3 条 本会は東京都中学校各地区美術教育研究部を母体とし、中学校美術教育に関係ある教職員を会員として構成する。
- 第 4 条 本会員は役員会を運営の中核とし、第 2 条の目的を達するための専門部を置き、次の事業を行う。その他必要に応じた特別委員会を置くことができる。

[専門部]

- (1) 教科研究部
- (2) 広報部（書記を兼ねる）
- (3) 行事部

[事業]

- (1) 美術教育に関する調査研究ならびにその発表
- (2) 協議会、講習会、展覧会、視察、見学、研究事業
- (3) 意見の公表ならびに建議
- (4) 会員相互の親睦
- (5) その他本会の目的達成に必要な事業

- 第 5 条 本会は次の役員をおく。
- ・会長 1 名
 - ・副会長必要数
 - ・事務局長 1 名
 - ・会計 2 名
 - ・専門部に担当副会長をおく
 - ・専門部長各 1 名
 - ・専門部副部長各若干名
- 第 6 条 各区市町村で選出された部長は、都中美本部との連絡・調整にあたる。
- 第 7 条 本会は役員会の推薦により顧問をおくことができる。
- 第 8 条 本会に監査 2 名をおく。
- 第 9 条 本会は年 1 回年度当初に総会を開く。なお必要あるときは臨時総会を開くことができる。
- 第 10 条 本会は運営を円滑に行うため、必要に応じて次の会議を開く。
- (1) 役員会
 - (2) 各専門部会
 - (3) 地区部長会
- 第 11 条 本会は、東京都中学校教育研究会よりの会費で運営される。
- 第 12 条 本会の会計年度は毎年 4 月 1 日に始まり、翌 3 月 31 日で終わる。
- 第 13 条 本会の毎年度予算、決算は総会の決議を経るものとする。
- 附 則
- (1) 本会の会則は総会の決議を経なければ変更することはできない。
 - (2) 本会会則は昭和 22 年 11 月 3 日から実施する。
- 平成 20 年 5 月 23 日 改正
平成 23 年 5 月 26 日 一部改正

平成23年度 東京都中学校美術教育研究会活動報告

月 日	活 動 内 容	
4月22日	都中美 会長・副会長研修会	(中野・第三中)
4月26日	第28回都中美町田大会実行委員会	(町田・町田第二中)
5月10日	都中美 事務局・専門部部長研修会 教科研修、23年度総会準備	(中野・第三中)
5月26日	総会・研修会 22年度活動報告・決算報告、23年度活動方針・組織・予算計画 講演 「美術教育における写真の可能性」 —学校にカメラの実践から— 講師 社団法人 日本広告写真家協会 副会長 鈴木英雄 氏	(東京工芸大学)
6月 3日	都造協理事会(異校種間連携会議) 23年度活動、校種間連携・情報交換等	(中央・泰明小)
6月18日	関東甲信越静地区都県代表者会議 (近隣県との連携・情報交換)	(中央・泰明小)
7月27日 ～28日	第64回 全国造形教育研究大会 北海道大会 大会テーマ 「わたしを創る」 ～自立と共生の造形活動を目指して～ 授業提案者 中野区立南中野中学校 内田善人教諭 他11名参加	(ホテルライフオー ト札幌・札幌市内 小・中・幼)
8月 3日	都中美夏季研修会 研修テーマ・・・「新学習指導要領完全実施に向けて」 ～年間指導計画を見直そう～ □午前 講師 文部科学省教育課程課教科調査官 東良雅人氏 □午後 講師 武蔵野市立第六中学校 中村みどり主幹教諭	(中野・第三中)
8月 4日 ～5日	第51回 関東甲信越静地区造形教育研究大会 新潟大会 大会テーマ 「つくる喜び みる楽しみ かかわる・つながる造形教育」 —「よさ」が広がる造形活動をめて— 授業提案者 中野区立第二中学校 猪口正和教諭 他14名参加	(長岡リリックホール ほか近隣大学・小学 校・美術館)
8月26日	都中美夏季研修会 研修テーマ・・・「鑑賞授業での鑑賞活動の可能性をさぐる」 □午前 公開授業 足立区立青井中学校 三浦悦子教諭 日野市立平山中学校 河田あすか教諭 □午後 講演・指導 講師 国立近代美術館主任研究員 一條彰子氏 国立西洋美術館主任研究員 寺島洋子氏 指導 東京都教職員研修センター 明石典子指導主事	(足立区立青井中学校) (国立西洋美術館)
8月29日	都造協理事会 25年度全国大会準備、校種間連携・情報交換等	(新宿・愛日小)
10月24日	都造協理事会 25年度全国大会における都中美の取り組み・情報交換等	(新宿・愛日小)
11月1日 ～6日	公立学校美術展(都展) 1日搬入 2・3・4・5日会期 6日搬出・片付け	(都立産業技術高等 専門学校)
1月13日	第29回東京都中学校美術教育研究会第7ブロック町田大会 大会研究テーマ「自分らしさを創る美術教育」 —生涯にわたり美術を楽しむ感性と能力— 会場 □午前 町田市立町田第二中学校 □午後 町田市立国際版画美術館 記念講演 講師 帝京科学大学 上野行一氏	(町田・ 町田第二中) (町田市立国際版 画美術館)
1月27日	平成25年度都中美大会2ブロック大会兼全造連東京大会・準備役員会発足会	(新宿・愛日小)
3月26日	都中美 会長・副会長研修会 24年度活動方針と組織について、情報交換等	(中野・第三中)

平成23年度 決算報告

収入の部

科目	予算額(円)	収入額(円)			備考
		収入済額	収入未済額	計	
会費	818,000	818,000	0	818,000	会費等
補助金	0		0	0	
寄付金	0		0	0	
雑収入	0		0	0	
前年度繰越金	403	403	0	403	
その他繰金	0		0	0	
合計	818,403	818,403	0	818,403	

支出の部

科目 (経費の区分)	予算額(円)	支出額(円)			備考		
		支出済額	支出未済額	計			
補助事業に要する経費	研究大会及び研修会	諸謝金	30,000	30,000	0	30,000	研究会講師謝礼
		旅費	100,000	120,000	0	120,000	全国大会派遣費
		借料・損料	0	0	0	0	
		印刷製本費	300,000	300,000	0	300,000	大会紀要印刷
		会議費	10,000	9,000	0	9,000	会場使用料
		消耗品費	10,000	8,650	0	8,650	事務用紙等
		通信運搬費	20,000	16,000	0	16,000	資料発送費
		小計	470,000	483,650	0	483,650	
	研究調査	諸謝金	30,000	25,000	0	25,000	研究調査謝金
		旅費	70,000	70,000	0	70,000	近県実践研究取材費
資料費		0	0	0	0		
印刷製本費		0	0	0	0		
賃金		0	0	0	0		
会議費		10,000	10,000	0	10,000	研究会場費	
消耗品費		30,000	30,200	0	30,200	事務用品費	
通信運搬費		5,000	5,000	0	5,000	ネットサービス費	
小計	145,000	140,200	0	140,200			
用研書	図書購入費	0	0	0	0		
	小計	0	0	0	0		
刊行研究成果	印刷製本費	5,000	7,600	0	7,600	印刷費(一部)	
	通信運搬費	10,000	8,800	0	8,800	刊行物運送費	
	小計	15,000	16,400	0	16,400		
計	630,000	640,250	0	640,250			
その他事業費・事務局費	188,403	175,942	0	175,942	名簿作成・諸団体加盟費		
合計	818,403	816,192	0	816,192			

翌年度繰越金 2,211 円

東京都中学校美術教育研究会

会長 菊田 寛

会計 原 順子

木村 祐子

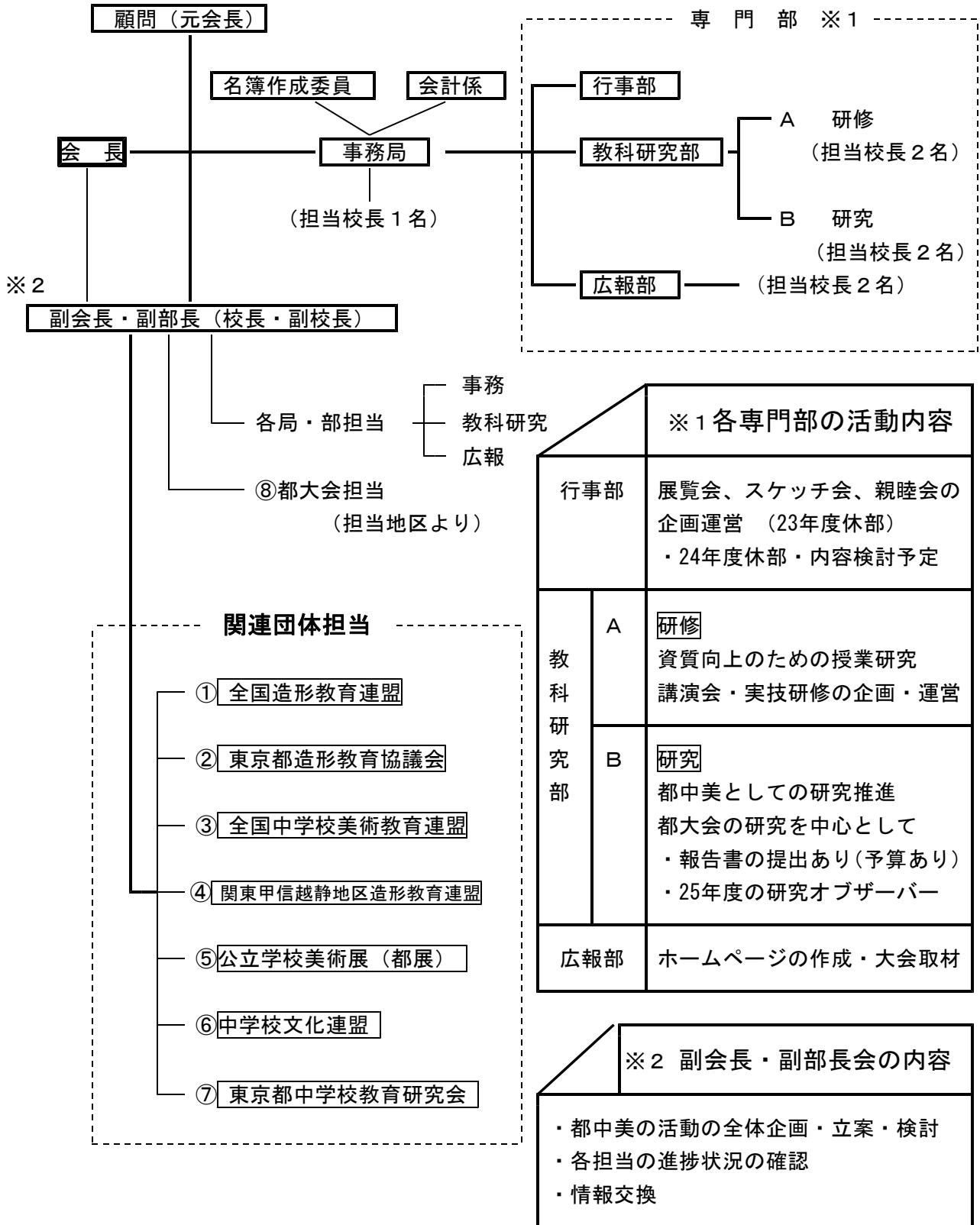
監査の結果、正確であることを認めます。
東京都中学校美術教育研究会

会計監査 川崎 達也

林 憲吾

24年度 都中美の組織構成及び各部の活動内容

■組織構成と分担内容



平成24年度 東京都中学校美術教育研究会組織 (案)

都中美				
東京都中学校美術教育研究会(都中美)				
会 長		菊田 寛	墨田・両国中	
副会長	関連団体担当	全造連	永関 和雄 町田・町田三中	
		全中美	正留 久巳 日野・三沢中	
		関プロ	牧井 直文 中野・緑野中	
		中文連	曾根 信行 東大和・第一中	
事務局担当		殿村 靖廣	葛飾・大道中	
副会長	教科研究部担当	研修A	中村 一哉 府中・府中五中	
		研修A	大野 雅生 西東京・田無四中	
		研究B	香村 智 品川・富士見台中	
		研究B	平内 利光 大田・馬込東中	
		研究B 2プロ	萩原 和彦 渋谷・笹塚中	
広報部担当		野崎裕一郎	世田谷・深沢中	
		池田 浩二	中野・第二中	
公美展担当		川崎 達也	東村山・七中	
名簿作成担当		曾根 信行	東大和・第一中	
		半田 道夫	東大和・第五中	
会計監査担当		古田 博己	奥多摩・古里中	
		林 憲吾	大田・出雲中	
担当会員	事務局	局長	伊藤範彦 葛飾・桜道中	
		副局長・副	上野目浩一 港・六本木中	
		副局長	宮越 一昭 杉並・東原中	
		局員	吉田 諭司	中野・第三中
	河田あすか		日野・第三中	
	矢野 芳幸		江戸川・小岩一中	
	福島 淳子		町田・金井中	
	鹿倉 美帆		大田・大森東中	
	濱脇みどり		西東京・田無一中	
	教科研究部	副部長・副	中村伊佐夫	町田・小山中
副部長・副		増田 裕子	板橋・桜川中	
部員		副部長	佐藤真理子	大田・南六郷中
		松尾 美恵	中野・中野中	
		高崎美也子	江東・深川四中	
		三浦 悦子	足立・青井中	
		深見 響子	墨田・文花中	
		倉科 幸雄	杉並・阿佐ヶ谷中	
		猪口 正和	杉並・井草中	
		安島 典子	狛江・狛江四中	
		中村みどり	武蔵野・六中	
		石井恵美子	文京・第三中	
		諸井奈津子	大田・矢口中	
		岩元さつき	江東・南砂中	
		坂東由香里	北・明桜中	
		畠山 真理	八王子・櫛田中	
長尾 菊絵	西東京・ひばりが丘			
平岡いづみ	足立・第一中			
広報部	部長	松尾 英治	大田・貝塚中	
	副部長・副	須藤 昭人	八王子・恩方中	
	副部長	志手 伸圭	中野・南中野中	
	部員	奥井 伸	墨田・向島中	
		藤井 義法	東久留米・東中	
井ノ口智章		目黒・第八中		
名簿作成担当	委員	近藤 幸司	渋谷・代々木中	
		倉科 幸雄	杉並・阿佐ヶ谷中	
		末永 幸歩	東大和・第一中	

行事部	部長	井ノ口智章	目黒・第八中
	副部長	倉科 幸雄	杉並・阿佐ヶ谷中
	部員	猪口 正和	杉並・井草中
会計	前田 正恵	墨田・両国中	
	木村 祐子	練馬・開進三中	

全国造形教育連盟(全造連)			
委員長	永関 和雄	町田・町田三中	
都代表	中村 一哉	府中・府中五中	
	菊田 寛	墨田・両国	
事務局	上野目浩一	港・六本木中	
	佐藤真理子	大田・南六郷中	

東京都造形教育協議会(都造協)			
会長	菊田 寛	墨田・両国中	
理事	永関 和雄	町田・第三中	
	中村 一哉	府中・第五中	
	殿村 靖廣	葛飾・大道中	
	香村 智	品川・富士見台中	
	萩原 和彦	渋谷・笹塚中	
	事務局長	伊藤 範彦	葛飾・桜道中
局長	茜谷佳世子	江戸川・篠崎二中	
	増田 裕子	板橋・桜川中	
	河田あすか	日野・第三中	

全国中学校美術教育連盟(全中美)			
理事	正留 久巳	日野・三沢中	
事務局	菊田 寛	墨田・両国中	

関東甲信越静地区造形教育連合(関プロ)			
理事	牧井 直文	中野・緑野中	
事務局長	宮越 一昭	杉並・東原中	
委員	菊田 寛	墨田・両国中	
	殿村 靖廣	葛飾・大道中	
	大野 雅生	西東京・田無四中	
	香村 智	品川・富士見台中	
	須藤 昭人	八王子・恩方中	
	中村伊佐夫	町田・小山中	
	伊藤範彦	葛飾・桜道	
	佐藤真理子	大田・南六郷中	
	河田あすか	日野・第三中	

公立学校美術展(都展)			
運営委員長	川崎 達也	東村山・七中	
委員	高橋純一郎	府中・浅間中	
	伊藤 勇司	墨田・文花中(夜間)	
	大出 和広	杉並・天沼中	
	高野 朱未	西東京・保谷中	

中学校文化連盟委員(中文連)運営委員			
会員	曾根 信行	東大和・第一中	
	茜谷佳世子	江戸川・篠崎二中	
	高崎美也子	江東・深川四中	

東京都中学校教育研究会(都中研)運営委員			
常任理事	菊田 寛	墨田・両国中	
委員	曾根 信行	東大和・第一中	
	殿村 靖廣	葛飾・大道中	

平成24年度 活動方針（案）

《 活動内容 》

学習指導要領に基づいた授業と評価の研究
異校種間の情報交換と連携
都中美会員の連携強化のための情報発信

本年度から新しい学習指導要領の基での授業が本格的に行われています。それぞれの区市町村研究会においては、学習指導要領の読み込みや解釈について研究を重ね、学習のねらいに準拠した授業が実践されているところです。そのような指導内容の改訂の中で、教育課程においては、選択教科の廃止に伴い、実質的に美術の授業時間が削減されました。さらに、生徒数の減少に伴い、学校規模の縮小等が進み、非常勤講師のみの学校も増え、益々美術教員の配置は厳しい状況を迎えています。また、近年、若手教員が採用され、一校一教師の中では授業研究が難しい環境にあります。こうした状況の中で、生徒につけたい力を明確にして、より良い授業を実践するうえで、研修の機会や勉強の機会をいかに設定するかが大きな課題となっています。このことから、本研究会では、これからの美術教育を考え、理論に基づく授業研究を軸に据えると同時に、若手教員育成の面からも会の役割を担っていかなければならないと考えます。今年度に関しては、昨年度の取り組みを拡大しながら継続した活動目標としました。これからの造形美術教育を考え、数少ない美術教員が一丸となって美術教育に邁進できるように本研究会では、さらなる活動の活性化を図りたいと考えます。そのことが、次の学習指導要領・教育課程の改訂に向けて中学校美術教育の重要性を訴えることにつながると確信しています。

【 学習指導要領に基づいた授業と評価の研究について】

本年度から完全実施の学習指導要領に基づき、授業及び評価の実践的研究が各地区美術研究部会や各学校において進められてきています。それに平行して授業内容の改善・充実が具体的に図られてきているものと思います。

都中美では、研究活動として、「生徒たちに創造することの楽しさを感じさせ、生涯にわたって主体的にかかわっていく力を育成する」ことを継続したテーマとして研究活動を展開しています。今年度の都中美品川大会では、1ブロック4区55校が一つとなって、品川区立富士見台中学校を会場に大会が開催されます。昨年度より「美術教育の今」～創造活動の資質・能力を考える～をテーマに準備活動を進めています。この研究大会では、テーマに基づいた授業を公開し、研究協議を行う中で、美術教員の指導力向上を目指す実践的研究を行います。新たな指導要領での新しい美術教育を東京から全国に発信していくことを目指しています。また、研修活動では、教育行政、大学、研究団体より講師を招き、美術教育の今日的課題の解決や教材開発や評価に向け講義研修やワークショップ研修を行なうと同時に、教育研究普及事業にも積極的に取り組み、会員の資質向上を目指していきます。

【 異校種間の情報交換と連携について 】

来年度、「全国造形教育連盟・東京大会」が11月に行われますが、すでに「東京都造形教育協議会」（都造協）が母体となって準備活動を行っています。準備は、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・大学の代表によって進められていますが、都中美からも多くの会員がスタッフに入り、これからの造形美術活動について考えを深めたり、相互に理解したりしています。来年に向けてさらに多くの会員の方に関わってもらい、連携と情報交換、造形美術教育の充実を図りたいと考えます。

【 都中美会員の連携教科のための情報発信について】

会員相互の連携と組織的な活動の展開に関しては、都中美名簿の活用とホームページによる広報活動によって推進します。

都中美のホームページの内容も徐々に充実がなさせてきましたが、さらに、活用しやすいホームページを目指し、より多くの会員の方からの情報（教育実践等）を収集し、ホームページで発信していきます。そして、研究団体としての情報を会員相互に共有できるように活発な広報活動を目指します。

平成24年度 東京都中学校美術教育研究会活動計画（案）

月 日	活 動 内 容	
4月25日	都中美 会長・副会長・事務局会議	(墨田・両国中)
4月26日	第30回都中用品川大会実行委員会	(品川・富士見台中)
5月10日	都中美 事務局・22年度総会準備・打合せ	(なかのZEROホール)
5月21日	都中美 研究局会議 23年度反省と24年度予定について	(府中・第五中)
5月25日	総会・研修会 23年度活動報告・決算報告、24年度活動方針・組織・予算計画 講演 「新しい美術表現を美術教育に取り入れ」 講師 明治学院大学非常勤講師・常葉学園大学非常勤講師 鈴木康広 氏	(なかのZEROホール)
6月上旬	全造連東京大会運営委員会兼都造協理事会 24年度活動、校種間連携	(墨田・両国中)
6月26日	第30回都中用品川大会実行委員会・基調提案検討会	(品川・富士見台中)
6月30日	関東甲信越静地区都県代表者会議・近隣県との情報交換	(墨田・両国中)
7月上旬	全造連東京大会運営委員会・局部会	(墨田・両国中)
8月1日 ～3日	第65回 全国造形教育研究大会 沖縄大会 大会テーマ ～太陽の島から発信する造形教育～	(浦添市でだこホール・ 近隣小中学校)
7月23日	都中美夏季研修会 研修テーマ・・・(仮題)「造形美術教育における他校種との連携」 □講師及び助言者 文部科学省教育課程課教科調査官 東良雅人氏 東京都教育委員会 指導主事	(なかのZEROホール)
7月24日	都中美夏季研修会 研修テーマ・・・(仮題)「美術館を活用した授業の工夫」 □講師及び助言者 文部科学省教育課程課教科調査官 東良雅人氏 東京都教育委員会指導主事 東京都美術館研究員等	(東京都美術館)
9月中旬	全造連東京大会・校種別会議(2ブロック大会準備委員会)	(渋谷・笹塚中)
10月 日	都中美 会長・副会長研修会	(墨田・両国中)
11月8～9日	第52回 関東甲信越静地区造形教育研究大会 埼玉大会(所沢) 大会テーマ 「見つめよう 子どもの心 育てよう たしかな力」	(所沢市民文化セン ター・ミュージ)
11月16日	第30回東京都中学校美術教育研究会第1ブロック品川大会 研究テーマ「美術教育の今」～創造活動の資質・能力を考える～ 記念講演・講師 千葉大学名誉教授 藤澤英昭氏	(品川・富士見台中)
1月 ・日	都中美 研修部会	(墨田・両国中)
2月9日 ～14日	公立学校美術展(都展) 8日搬入 9～14日会期 14日午後搬出・片付け	(東京都美術館)
2月中旬	全造連東京大会運営委員会・局部長会	(墨田・両国中)
3月 ・日	都中美 事務局・専門部部長研修会 教科研修、24年度活動まとめ、 25年度活動方針・組織の検討	(墨田・両国中)
3月26日	会長・副会長会(25年度の計画づくり)	(墨田・両国中)

平成24年度 収支予算書(案)

収入の部

科目	収入額 (円)	備考
会費	818,000	会費等
補助金	0	
寄付金	0	
雑収入	0	
前年度繰越金	2,211	
その他繰越金	0	
合計	820,211	

支出の部

科目	(経費の区分)	支出額 (円)	備考	
補助事業に要する経費	研究大会及び研修会	諸謝金	30,000	研究会講師謝礼
		旅費	180,000	全国大会(沖縄)派遣費補助
		借料・損料	0	
		印刷製本費	350,000	大会紀要印刷
		会議費	10,000	会場使用料・機材借用料
		消耗品費	10,000	事務用紙等
		通信運搬費	8,000	資料発送費
		小計	588,000	
	研究調査	諸謝金	5,000	研究調査謝金
		旅費	0	近県実践研究取材費
		資料費	20,000	関東ブロック大会資料代
		印刷製本費	0	
		賃金	0	
		会議費	10,000	研究会場費
		消耗品費	4,000	事務用品費
		通信運搬費	5,000	ネットサービス費
	小計	44,000		
	図書用	図書購入費	0	
		小計	0	
		印刷製本費	8,000	印刷費(一部)
		通信運搬費	10,000	刊行物運送費
		小計	18,000	
	計		650,000	
	その他事業費・事務局費		170,211	名簿作成・諸団体加盟費
	合計		820,211	

東京都中学校美術教育研究大会の運営について

1. 東京都中学校美術教育研究大会（以下、研究大会と称する。）は、東京都の中学校における美術教育の充実・発展と美術科教員の指導力の向上を目指して、東京都中学校美術教育研究会が主催し、毎年、実施するものとする。
2. 研究大会の実施にあたっては、東京都の全区市町村を別表に定める11の研究ブロックに分け、ブロックごとの輪番で開催することにより、全都の美術教育の水準の維持と向上を図るようとする。
3. 研究大会の開催ブロックは、原則として1ブロックごととし、3年間で区部2ブロックに対して市町村部1ブロックの割合で輪番開催を原則とする。ただし、市部の第8、第9、第10ブロックのみは、3ブロック合同開催とする。
4. 研究大会の実施にあたっては、東京都中学校美術教育研究会会長の依頼により、開催ブロック内の区市町村の協議に基づき実行委員会を組織し、推進することとする。
5. 実行委員会には、原則として、実行委員長、副実行委員長および事務局、研究局、編集局、庶務局を置き、それぞれの局には局長を置いて研究大会を運営する。
6. 実行委員会は、東京都中学校美術教育研究会と連携を図りながら、実行委員長、副実行委員長ならびに事務局長を中心として、研究大会の準備から報告に至るまでの一切を運営、維持する。
7. 研究大会の実施にかかる費用については、東京都中学校美術教育研究会から支出される負担金のほか、開催ブロックの区市町村教育委員会の協力のもと、1校あたり1万円の分担金の拠出を得て運営するものとする。
8. 上記、大会の運営にかかる費用については、研究大会実施後、大会報告書とともに、開催区市町村の教育委員会教育長に報告するものとする。

都中美 研究ブロック区分

第1ブロック	千代田（2校）・港（10校）・品川（15校） 大田（28校）	計55校
第2ブロック	新宿（11校）・目黒（10校）・世田谷（29校） 渋谷（8校）	計58校
第3ブロック	中野（11校）・杉並（23校）・練馬（34校）	計68校
第4ブロック	文京（10校）・豊島（8校）・北（12校） 板橋（23校）	計53校
第5ブロック	中央（4校）・台東（7校）・荒川（10校） 足立（37校）	計58校
第6ブロック	墨田（12校）・江東（23校）・葛飾（24校） 江戸川（33校）	計92校
第7ブロック	八王子（38校）・町田（20校）・日野（8校） 多摩（9校）・稲城（6校）	計81校
第8ブロック	武蔵野（6校）・三鷹（7校）・府中（11校） 調布（8校）・狛江（4校）	計36校
第9ブロック	立川（9校）・昭島（6校）・小金井（5校）・小平（8校） 国分寺（5校）・国立（3校）	計36校
第10 ブロック	東村山（7校）・西東京（9校）・清瀬（5校）・東久留米（7校） 武蔵村山（5校）・東大和（5校）	計38校
第11 ブロック	青梅（11校）・福生（3校）・あきる野（6校） 羽村（3校）・西多摩（7校）	計30校
島 嶼	大島（3校）・利島・新島・式根島・神津・三宅・御蔵島・ 大賀郷・富士・三原・青ヶ島・小笠原・母島	計15校

24年度 全620校

都中美大会 一覧表

S58/11/18	第1回 品川区 品川総合教育会館	感動をもって創り出す力を高める美術教育
S59/11/20	第2回 府中市 府中市立教育センター	未来を拓く人づくりを目指す美術教育
S60/11/27・28	第3回 豊島区 豊島区立千川中学校 関プロ大会と合同大会	素材と創造者たち
S61/10/9	第4回 中野区 中野区立第七中学校	創造意欲をおこさせ表現力をたかめる授業の進め方
S62/10/9	第5回 立川市 立川市立第九中学校	崩壊か、低迷か、創造か
S63/11/25	第6回 新宿区 新宿区立西戸山中学校 新宿区立早稲田小学校 都図研と合同大会	想像の大地をめざして ～伸びる・ふれあう・美術の根～
H1/10/20	第7回 北区 北区立神谷中学校	やる気見つけた！ ～みずからの生き方につながる造形活動をめざして
H2/11/22	第8回 新宿区 神楽坂工ミール	感動が人を創る ～自らをたがやす生徒の育成をめざす美術教育～
H3/10/22	第9回 第5ブロック 荒川大会 荒川区立南千住第二中学校	創るよろこび、生きるよろこび ～なぜ美術教育か～
H4/10/20	第10回 第6ブロック 江戸川大会 江戸川区立小松川第二中学校	感性が輝くとき ～今、創造の意味を考える～
H5/11/18	第11回 第7ブロック 八王子大会 八王子市立浅川中学校	主体的表現と個性の輝きをもとめて ～心の教育と21世紀へ向けての美術教育～
H6/10/4	第12回 本部大会 東京国立近代美術館・神楽坂工ミール	新たな美術教育の展開を求めて ～美術館との連帯と鑑賞教育の可能性～
H7/11/14	第13回 第8・9・10ブロック 北多摩大会 武蔵野市立第六中学校	きらめく感性 あふれる創造 ～子どもが伸びる授業づくりをめざして～
H8/10/4	第14回 第1ブロック 大田区全造連・関プロ合同大会 大田区民センター	美術と環境一心の軌跡
H10/1/22	第15回 第2ブロック 世田谷大会 世田谷美術館	根幹と広がり ～美術を好きになるには一立体表現を通して～
H11/1/28	第16回 第3ブロック 練馬大会 練馬区立豊玉第二中学校	現在、美術は増殖する ～学校から地域へ生涯へ～
H11/11/19	第17回 第11ブロック 西多摩大会 西多摩郡日之出町立大久野中学校	地域からの発想 ～自然・伝統・生活を見つめて～
H12/11/16	第18回 第4ブロック 板橋大会 板橋区立加賀中学校	美術の時間は発見ワールド ～21世紀の美術は感性を呼び覚ます～
H13/11/22	第19回 第5ブロック 足立大会 足立区立第十四中学校・西新井ギャラクシティ	豊かな感性が21世紀を創る ～人権・共生・環境教育の原点としての美術～
H14/11/21	第20回 第6ブロック 墨田大会 墨田区立墨田中学校	美術、生命の泉 ～湧き出す想像、広がる創造～
H15/11/28	第21回 第7ブロック 八王子市全造連・関プロ合同大会 八王子市立長房中学校	創ることは生きること ～人間・さらなる成長をめざして～
H16/11/5	第22回 第1ブロック 品川大会 品川区立富士見台中学校	観る 鑑る 未来 ～転換期における美術教育～
H17/11/18	第23回 第2ブロック 新宿大会 新宿区立落合第二中学校	創造は生徒を変える
H18/11/17	第24回 第3ブロック大会 中野大会 中野区立中野富士見中学校	みんなの美術 ～感動と創造は未来を拓く～
H19/11/08・09	第25回 第4ブロック大会 文京区立茗台中学校	つくる喜び みる喜び ～未来を心豊かに生きるために～
H21/01/16	第26回 府中大会 府中市立浅間中学校・府中美術館	人間力をはぐくむ美術教育～いま、求められる創造性～豊かな「かかわり」を生み出す美術の授業
H21/11/13	第27回 葛飾大会 葛飾区立上平井中学校	「メッセージ」 ～色・形・ことば からの発信～
H22/11/9	第28回 荒川大会 荒川区立第三中学校	「イメージを形に」 ～鉛筆デッサンから自己表現まで～
H24/1/13	第29回 町田大会 町田市立第二中学校 町田市立国際版画美術館	「自分らしさを創る美術教育」 ～生涯にわたり美術を楽しむ感性と能力～